

活性炭ろ過槽

アクアフィルター C MAC3形

クイックガイド

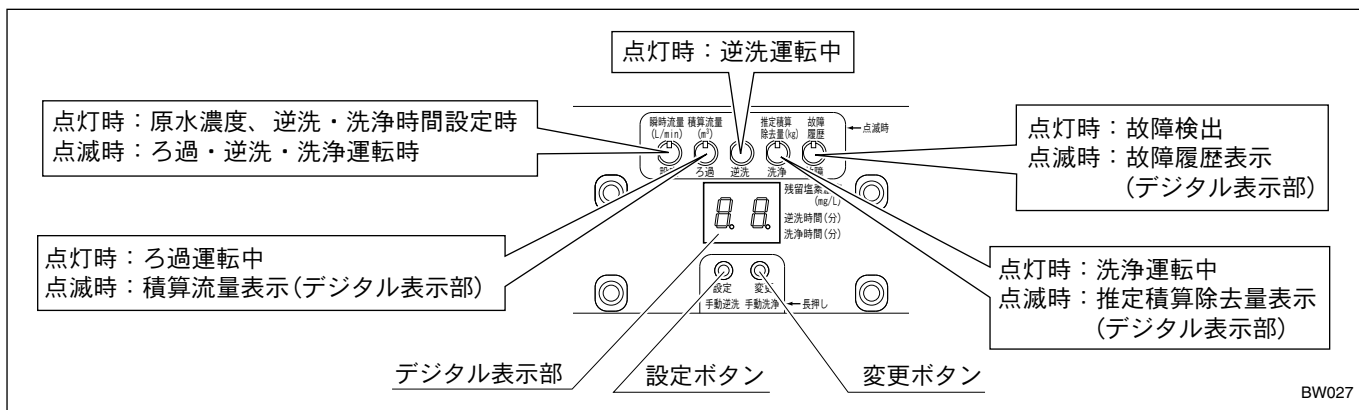
はじめに取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。また、詳細については、取扱説明書をご参照ください。

[1] 現在時刻、逆洗時刻の設定

取扱説明書に従って、ウィークリータイマーの現在時刻と逆洗時刻を設定してください。

*逆洗間隔は、少なくとも 1回/週 の頻度で設定してください。

[2] 初期ろ過運転



1 ろ過槽内の空気の排気とろ過材に含まれる微少粉末の排出のために、捨て水をしながらか目視で微少粉末が確認されなくなるまで初期ろ過運転を行ってください。

*捨て水は、仕様のろ過流量を超えないように実施してください。

*配管途中に排水管がなく、初期ろ過運転ができない場合は、変更ボタンを2秒長押ししてください。

洗浄弁 SV2 が開き、手動洗浄運転が開始され、初期ろ過運転と同様の効果が得られます。(MAC3-5A は除きます。)

*ろ過槽上部のボール弁 (手動排気弁) を開いて、ろ過槽の空気を排出してください。ボール弁 (手動排気弁) から水が出てきたら、ボール弁 (手動排気弁) を閉めてください。

2 ろ過槽吐出し側の仕切弁を操作して、仕様範囲内のろ過流量に調整してください。

*特別付属品の制御盤 - 除菌器 MJ 接続用コードを接続している場合は、制御盤のデジタル表示部に、ろ過時の瞬時流量が表示されます。

ご注意

初期ろ過運転を省略して逆洗運転を行うと、気泡を含んだろ過材が流出します。

[3] 手動逆洗運転

1 初期ろ過運転を行った後、手動で逆洗運転を行ってください。設定ボタンを2秒長押しすると、手動逆洗・洗浄^{注1)}運転が開始されます。

2 ろ過槽の排水口 (逆洗・洗浄^{注1)}) に接続した仕切弁を少しずつ開き、逆洗・洗浄^{注1)}流量を仕様の流量に調整してください。

注1) MAC3-5Aは除きます。

ご注意

<手動式、自動式共通>

逆洗流量が仕様の流量を外れると、ろ過材が大量に流出する恐れがあります。

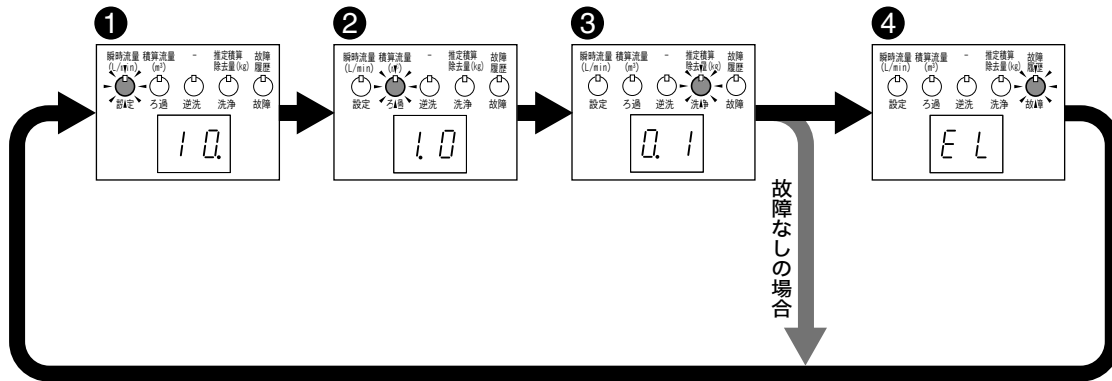
[4] 残留塩素濃度測定

付属の残留塩素濃度測定器を使って、処理水の残留塩素濃度を測定し、残留塩素が除去できていることを確認してください。
(測定範囲 = 0.1 ~ 5mg/L)

[5] 運転状況の確認

変更ボタンを押すごとに、表示項目が ①「瞬時流量」⇒ ②「積算流量」⇒ ③「推定積算除去量」⇒ ④（故障履歴）と切り替わり、その後、①「瞬時流量」表示に戻ります。（ロータリー表示）

*故障がない場合は、③「推定積算除去量」表示の後、①「瞬時流量」表示に戻ります。



BW026

No.	表示項目	表示単位	初期値	備考
①	瞬時流量	L/min	0	「10.」表示は 100L/min を意味します。
②	積算流量	m ³	0.0	0.0 ~ 9.9 ~ 99 ~ 99 99. *最大 9,999m ³ まで表示します。
③	推定積算除去量	kg	0.0	0.0 ~ 99. *除去量 = 積算流量 × 原水の残留塩素濃度
④	故障履歴	—	—	E1、E2、E3、EL、EA *変更ボタンを押すごとに、最新データ 4 個までを表示します。

特別付属品の制御盤－除菌器 MJ 接続用コードを接続している場合

制御盤にて、「瞬時流量」、「積算流量」、残留塩素の「推定積算除去量^{注2)}」を表示することができます。

注2) 取扱説明書に従って、「原水の残留塩素濃度」を設定してください。

* コードを接続しない場合、上記 No. ① ~ ③ の表示は “0” または “0.0” のままです。

〈制御盤故障表示〉

表示	内容
E1	電装ボール弁 SV1 の拘束
E2	電装ボール弁 SV2 の拘束
E3	電装ボール弁 SV3 の拘束

表示	内容
EL	MJ 故障 ^{注3)}
EA	MJ ガスロック ^{注3)}

注3) 制御盤－除菌器MJ接続用コード(特別付属品)を接続している場合

*各項目の詳細は、製品「取扱説明書」をご参照ください。

故障の原因が分からないときは、購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、製品の形式、製造番号、故障箇所、故障状況を「点検表」（製品「取扱説明書」参照）に記入していただき、状況をお知らせください。